

まちあるきに着目した市街地観光に関する実態調査  
ー滋賀県大津市における「古都おおつ観光ボランティアガイド」の事例ー

実査日：平成 30 年 3 月 24 日

報告者：財団法人都市化研究公室研究員岩間真二

## 1. はじめに

地方都市における、観光において、いわゆる歴史的資産や、ハコモノ的ではないソフト的な施策における観光情報補発信や、ガイド等による通常では得られない情報や体験が注目されている。観光による地域再生を目指す中で、まち歩きガイドに着目して、その現状や組織体制や運営に着目して調査をこれまで行っている。

本稿は滋賀県大津市の「古都おおつ観光ボランティアガイドの会（以下、ガイドの会）」を取り上げガイドによる実際のまちあるきを行った報告およびヒアリングを行い考察する。

## 2. 大津市について

- 概要

滋賀県大津市は、滋賀県の県庁所在地で滋賀県の南西端に位置している。667 年天智天皇が近江大津宮に遷都して以来の歴史を持つ古都である。人口およそ 34 万人、面積 464.5 km<sup>2</sup>の中核市である。観光資源としての紹介は下記の様にホームページにて紹介されている。

大津市は日本一の大きさを誇る琵琶湖、比良山や比叡山などの自然に恵まれ、これらが生み出す美しい風景と自然を、四季を通じて楽しむことができます。また世界文化遺産の比叡山延暦寺をはじめ、三井寺や石山寺などの歴史遺産も有しており、平成 15 年 10 月には全国で 10 番目の「古都」指定を受けました。

大津市 HP 大津市観光データベース

( <http://www.city.otsu.lg.jp/kanko/spot/db/1389146862802.html> )

自然景観や歴史的資産に比較的恵まれた地域でまた JR 京都駅から玄関口となる大津駅まで約 10 分とアクセスが良好である。

アクセスの良さから琵琶湖畔にマンション開発が進んでおり、人口も近年微増を続けている。



三井寺より大津市街を望む

大津駅付近では、大津城下であったが、関ヶ原の合戦後廃城になっておりその痕跡は少ない。また大津城下も大きく焼けており、大津市街地の古い建物でも江戸期以降の建物となっているが、東海道の宿場及び大津港を擁していたため江戸期は大きく栄えている。

明治期では大津事件の発生地として有名。



大津事件跡碑

### 3. 古都おおつ観光ボランティアガイドについて

本節では、古都おおつ観光ボランティアガイドの会三輪副会長のまちなるきへの参加及びヒアリングを行ったものをまとめたものとなっている。

- 古都おおつ観光ボランティアガイドの会について

ガイドの会は約 15 年前に原型となる会ができたということである。10 年前に現在の名称になっている。

ガイド希望の受け付けは、観光協会へ FAX またはメールで申し込むと、ガイドの会より予約の可否について連絡が来るという手続きとなっており、観光協会が

と連絡窓口のみ提供しており取り次ぐ形態となっている。

観光ガイドは随時募集という形をとっており、基本的には当日受付は行っていないが、タイアップで JR 大津駅受付を設置し随時受付することもある。

ガイド料はガイド 1 名あたり 2000 円の交通費（延暦寺では 3000 円）となっており、ガイド料として受け取ってはいない。なお、ガイドは年会費 2000 円と保険料 300 円をおよび、制服代を別途負担しており、実費交通費等を勘案するとガイド個人としてはほとんど収入はないとのこと。

案内する人数は近年年間約 9000 人～10000 人前後、延約 500 件となっており、10-11 月頃の紅葉需要が高いとのことである。

会の運営としては、行政等による補助金等は受け取っておらず、ガイドの年会費のみを運営費として、研修費やその交通費等に充てているということである。

ガイドの募集、育成は、チラシや口コミ等で随時募集しており、面接で確認して、資料や実際のガイドに同行するなどのトレーニングを行いガイドとして育成しているということである。また年に 1-2 回ボランティア協会等の主催する研修会等に参加するなどしているということである。需要の高い延暦寺等は全員出来るようにしていくということである。

ガイドは現在 35 名程度おり、平均 70 歳程度ということで、自身の健康やなどのために参加されている方が多いということである。

- 古都おおつ観光ボランティアガイドのコースについて

まち歩きのコースとして地域別に以下の 9 コースが設定されている。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①小野妹子ゆかりの地小野・和邇（小野神社、天皇神社、唐臼山古墳等）</li> <li>②湖族の郷・堅田（浮御堂、一休ゆかりの祥瑞寺等）</li> <li>③日本仏教の母山、世界遺産・比叡山延暦寺（東塔、西塔、横川）</li> <li>④石積みのある門前町坂本（日吉大社、西教寺等）</li> <li>⑤天智天皇ゆかりの大津京遺跡、近江神宮</li> <li>⑥大津のまちなか（大津百町と三井寺）</li> <li>⑦旧東海道（追分～瀬田）と芭蕉ゆかりの義仲寺、膳所城下町</li> <li>⑧紫部式部ゆかりの石山寺</li> <li>⑨瀬田川清流の自然と歴史（瀬田唐橋、建部大社と近江国府跡）</li> </ul> |
|--|



**古都おおつ観光ボランティアガイドの会**

私たちガイドの会は、大津市内を訪れる観光客の皆様にも、ふるさとの文化や自然風土についてボランティア精神をもって案内と説明を行い、「びわ湖大津」への理解と愛着を深めていただくよう努めています。

- ガイド案内範囲
- ①小野妹子ゆかりの地小野・和置(小野神社、天皇神社、唐臼山古墳等)
  - ②湖族の郷・堅田(浮御堂、一休ゆかりの禅場寺等)
  - ③日本仏教の母山、世界遺産・比叡山延暦寺(東塔、西塔、横川)
  - ④石積みのある門前町坂本(日吉大社、西教寺等)
  - ⑤天智天皇ゆかりの大津京遺跡、近江神宮
  - ⑥大津のまちなか(大津百町と三井寺)
  - ⑦旧東海道(遠分～瀬田)と芭蕉ゆかりの巖神寺、膳所城下町
  - ⑧兼部式部ゆかりの石山寺
  - ⑨瀬田川清流の自然と歴史(瀬田唐橋、建部大社と近江国府跡)

- 予約可能人数: 原則2名様より(ガイドは20名様に付き1名を予定します)
- 予約は原則として10日前までに、所定の申込書によりFAXまたはEメールでお申し込み下さい。
- 料金: 交通費としてガイド一人あたり2,000円(延暦寺は3,000円)を申し受けます。
- その他の詳細につきましては、申込書の記載事項をご覧ください。

**お申込・お問合せ先**  
 (公社)びわ湖大津観光協会 営業時間: 8:40~17:25 休業日: 土日祝日  
 〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2-3 大津市立市民文化会館2F  
 TEL: 077-528-2772 FAX: 077-521-7330  
 E-MAIL: info@otsu.or.jp

ガイドの会パンフレット

基本的に歴史的観光資源を複数めぐるものとなっているが、希望と時間により柔軟に対応しているとのことである。

● 古都おおつ観光ボランティアガイドのまちあるき

実査日は、市街地観光ということで「大津まちなか(大津百町と三井寺)」コースの案内をいただいた。



まちなみ

朝であったため街中の人通りが少なかったが、ところどころに残る歴史的資産などを見て回ることができた。

大津城石垣の跡や東海道と北国街道の境目付近や、地域の古い商店の話など、興味深い話を聞くことができた。



一部残っている大津城石垣



三井寺



琵琶湖疎水

#### 4. おわりに

大津における市街地観光についてガイドの会へのヒアリングとまち歩きを調査してきたが、過去の同様の調査した団体と比較すると、規模は小さい。また行政等の補助を受けていない（受付の取次は観光協会が行っている）のも特徴として挙げられる。ボランティア団体として独立して行っているものである。ヒアリング時に今後の課題として、団体や大津の周知や、インバウンド対応が挙げられていたが、とくに市街地観光ではインバウンドでの対応が語学的に難しいということである（通常の歴史資産の観光と比べて）。

今回、大津のまち歩き観光を見てみると、寺社などの観光資源には注目されているが、体験型やテーマ型のコースが少なく、例えば市街地での特産品の食べ歩きや、琵琶湖疎水などの土木資産と、京阪大津線の路面電車などの組み合わせや、伝統工

芸の大津絵・大津算盤や焼き物を特徴としたまち歩きなどもできるのではないかと  
思われる。

今回、大津に訪問して、多くの観光資源があり、その特徴はまだ充分生かされて  
いないのではないかと、またより市街地も調べてみれば、まだ多くのまちなか観光の  
資源が多く散在しているという印象を持った。その分、大津におけるまちあるき観  
光の発展性が期待されるということと、そのためには、ボランティアとともに別途、  
現状以上に新たな施策展開が必要であろうと思われる。